

あさきた

介護講演会 「地域でつながる
介護のわ~ひとりじゃないよ~」
を開催しました!

安佐北区区域協議体は令和5年11月18日(土)に安佐北区総合福祉センターにて、区内でご家族を介護している方を対象に「助けて」と言える大切さ、身の回りにどんな福祉サービスや支援団体があるのかを知ってもらうこと、また気軽に語り、相談できるような場に繋がることを目的に以下の通り開催しました。

安佐北区区域協議体って何?

地域の住民、関係団体、行政等の関係機関が協力して、自分達が住む地域の支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

●内容 / 第1部

◇基調講演

『「助けて!」と言えたなら。言えるには。』

講師: 社会福祉法人 燈心会 特別養護老人ホーム三滝苑
施設長 野村 妙子 氏

在宅介護の現状や介護者が抱えている問題、「助けて」と言える大切さ、どんな支援の場があるか。



◇介護の体験談

介護経験者2名による介護に至った経緯、介護の苦労、悩み、介護を経験して伝えたいことを発表。

◇情報コーナー

高齢者支援に関わる支援団体等のチラシやパンフレットを会場内にブースを設け紹介。

●内容 / 第2部

◇個別相談会

介護のこと、認知症のことなど専門職が個別相談に対応。(1組15分程度)

◇座談会

- ①講演会に参加した感想
- ②介護における不安・不満等
- ③介護体験談発表者への質問



※個別相談会、座談会とも事前申込制による参加で、同時刻に実施。

「語らい・つどいの場」、「制度・サービス」ごとに設置。



参加者は、メモを取るなど熱心に耳を傾けていました。アンケート結果から、「色々な情報が貰えて良かった」「また参加したい」等、大変好評でした。今後も安佐北区区域協議体として、介護を必要とされる方とその家族、介護者が孤立しない・させない地域、困った時に困ったと言えるような地域を創っていけるよう啓発のために、介護講演会等を実施していきたいと思ひます。

令和6年度

地域高齢者交流サロン・地域介護予防拠点 新規団体募集のお知らせ

地域での通いの場・介護予防への取り組みを行う団体に、3年間を限度として補助金を交付し、新たな立ち上げや既存のサロンの活性化を応援する事業です。申請を検討されている団体は安佐北区社協までご連絡ください。

●地域高齢者交流サロン 上限5万円

・月1回以上、概ね10人以上の参加見込み等が条件です。

●地域介護予防拠点 上限5万円（上記とあわせて上限10万円）

・毎週1回以上のいきいき百歳体操の実施と、概ね10人以上の参加見込み等が条件です。

※既に補助を受けた団体は対象外となります。

令和5年度 選定サロン活動紹介

真亀シルバーサロン

◆活動内容 いきいき百歳 体操



◆場所 真亀集会所



◆ここが自慢!

百歳体操、茶話会、ゲーム等、近所の仲間と一緒に楽しみながら活動しています。

◆補助金の活用方法と効果

長机を購入したことで、百歳体操だけでなく、茶話会やゲームができるようになりました。



いきいきサロン行森くつろぎ会

◆活動内容 カラオケ、 季節行事、 ゲーム大会 など



◆場所 行森集会所



◆ここが自慢!

カラオケ以外にもモルック、ボウリング等も行っています。毎回参加者にお弁当を配布し、一緒に食べて、楽しみながら活動しています。

◆補助金の活用方法と効果

カラオケ機器セットを購入したことで、選曲の幅が増え楽しく活動しています。



亀山スポーツウェルネス吹矢同好会

◆活動内容 スポーツウェルネス吹矢



◆場所 亀山公民館



◆ここが自慢!

競技技術の向上はもちろん、腹式呼吸による血行の促進、代謝の向上などの健康効果があります。仲間と一緒に和気あいあいと活動しています。

◆補助金の活用方法と効果

スポーツウェルネス吹矢に使う的や、吹矢を置くスタンドの購入に使いました。メンバーも増え、活動の広がりを感じています。



ボランティアセンター通信

ボランティアグループ紹介

亀山南地区福祉ボランティアグループ「あいあい」

亀山南地区福祉ボランティアグループ「あいあい」(以下、「あいあい」という)は、安佐北区社協ボランティアセンターの登録グループです。主に亀山南地区社会福祉協議会(以下、「亀山南地区社協」という)のメンバーで構成されており、福祉推進委員を筆頭に個人や団体から相談が入ると庭の草抜きや室内の片付け、行事の手伝いなどを行っています。



今回訪問させていただいたあいあいのメンバーも参加されている亀山南地区社協の行事である児童との交流活動の様子をお届けします。

さつまいもの苗植え&芋掘り



令和5年5月20日、亀山南児童館の子どもたちと一緒にさつまいもの苗を植えました。和気あいあいとした様子で、秋の収穫を楽しみにしながら行われていました。そして、10月21日に芋掘りをし、その場で焼き芋にいただきました。栗の味のようなとても甘い焼き芋に「おかわりしたい!」と元気よく会員に伝えている子もあり、無邪気な子どもたちの元気な声に心和まされました。

むかし遊び

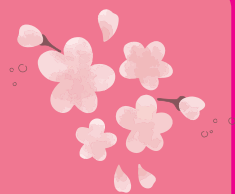


令和6年1月25日は、亀山南児童館にて児童たちとむかし遊びをしました。福笑いやあやとり、お手玉、こま回し、けん玉、縄跳び、フラフープを児童に教えたり、時には教えてもらったりしながら、賑やかな雰囲気、笑顔が溢れる世代を超えた交流をされていました。ゲーム機やスマートフォンのゲームが普及されている現代にも、むかし遊びで笑ったり、色々な人と話したりと全力で楽しめることを児童たちに伝えていたように思います。





赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



10月1日から「赤い羽根共同募金」運動が全国一斉に展開され、安佐北区でも多くの地域団体・住民の皆さまにご協力をいただきましたことを心より御礼申し上げます。

皆さまよりお預かりした募金は、地域福祉活動に活用させていただくほか、県内の福祉事業や災害発生時のボランティア活動のための積立などにも役立てられます。

引き続き、赤い羽根共同募金運動をどうぞよろしくお願いいたします。



街頭募金のご報告とお礼



安佐北区では、有志の方々のご協力により街頭募金を実施し、たくさんの方から善意の募金とともに温かいお言葉をいただきました。共同募金へのおひとりおひとりのご協力は、暮らしやすいまちをつくるための大きな力となります。

ご協力、誠にありがとうございました。



街頭募金の実施にご協力いただいた皆さま

● 亀崎地区社会福祉協議会
● ボーイスカウト安佐第8団

● 落合東地区社会福祉協議会
ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金クイズ



赤い羽根共同募金のシンボルとなっている羽根の色は何色？



A 緑色

B 青色

C 赤色



answer
答え

C 赤色

赤い羽根共同募金では「赤色」の羽根をシンボルとしています。

赤い羽根をシンボルとした由来

アメリカの先住民族は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていました。羽根には色によって意味があり、勇気のある行いや良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。

ちなみに、緑色の羽根は国土緑化推進機構が行う「緑の募金」のシンボル、青色の羽根は日本水難救済会が行う「青い羽根募金」のシンボルになります。



〈一般寄付〉
前田 満晴様
(故人)

(令和5年11月1日～令和6年2月29日)

安佐北区社協に、皆さまより多額のご寄付をいただきました。皆さまの厚意に感謝申し上げます。

愛の灯

